

高校受験対策・文章題 5

① 右の記事は、ある中学校の保健委員会が発行した「保健だより」の一部である。

品数が「3品以上」と答えた生徒が、1、2年生あわせて149人であったとき、朝食を「食べた」と答えた1年生、2年生はそれぞれ何人であったか、方程式をつくらせて求めなさい。なお、途中の計算も書くこと。

② A市の家庭における1か月あたりの水道料金は、

$$(\text{水道料金}) = (\text{基本料金}) + (\text{水の使用量に応じた使用料金})$$

となっています。使用量が 30m^3 までは、 1m^3 あたりの使用料金が一定であり、使用量が 30m^3 を超えた分の 1m^3 あたりの使用料金は、使用量が 30m^3 までの 1m^3 あたりの使用料金より80円高くなっています。

A市の、ある家庭における1か月の水道料金は、使用量が 32m^3 のときは5310円、使用量が 28m^3 のときは4710円でした。使用量が 30m^3 までの 1m^3 あたりの使用料金を求めなさい。

〈朝食についての調査結果〉

※回答者 1、2年生 計300人

Q1. 今朝、朝食を食べましたか？

食べた→90% 食べていない→10%

Q2. Q1で「食べた」と答えた人に質問します。
品数は何品でしたか？

1年生 3品以上→60% 2品→30% 1品→10%

2年生 3品以上→50% 2品→40% 1品→10%